

脳機能とリハビリテーション研究会

2018年研修会

脳画像の特徴と読影法を学び、臨床で活用しよう！

【日時】2018年11月23日・24日（金・土）

【会場】千葉県立保健医療大学 幕張キャンパス

【定員】50名（会員限定。非会員は当日入会手続により受講可）

【参加費】5,000円（2日間の受講料）

【参加申込み方法】専用の参加申込フォームからお申込みください。

（研究会ホームページ <http://noukinou.main.jp>）

参加申込フォーム
（お申込はこちらから）



11月23日（金・祝日）【講義】 受付 9:30～

1. 脳画像読影のための基礎 9:55～12:20
 - 1) MRI・CT脳画像読影の基礎知識
講師 迫 力太郎（昭和大学藤が丘リハビリテーション病院 理学療法士）
 - 2) 皮質一次領域の障害における脳画像の見方と神経学的所見
講師 山本 哲（茨城県立医療大学 保健医療学部理学療法学科 助教）
2. 脳画像読影の応用 13:30～16:45
 - 1) 脳MRI画像を理解・活用するために：診療放射線技師の視点から
講師 本寺 哲一（昭和大学藤が丘病院 診療放射線技師）
 - 2) 各脳領域における神経心理学的症候と脳画像との関係
講師 高杉 潤（千葉県立保健医療大学 リハビリテーション学科 講師）
3. グループワークの進め方 16:55～17:25

11月24日（土）【グループワーク】 受付 9:30～

1. MRI・CT読影の実践Ⅰ 9:50～12:00
 - 1) 画像全体像の把握と損傷部位の同定
 - 2) 症例の画像読影法のレクチャー
2. MRI・CT読影の実践Ⅱ 13:00～14:45
 - 1) 損傷部位と臨床徴候との関連性の検討
 - 2) グループ発表の準備
3. グループ発表およびケース臨床徴候の解説 15:00～17:30

- ・初心者の方も大歓迎！基礎的な講義と十分な資料を準備しております。
- ・臨床での評価、スタッフや学生の指導の際にも役立つ情報をお伝えします。
- ・グループワークでは、症例の脳画像から損傷部位の同定と臨床徴候を推定する作業を行い、発表します。
- ・各グループには経験豊富な指導者を配置します。適宜、助言や指導を行い、最後に症例の解説をします。